

# 今月の聖語

やっ  
八のかぜに  
おかしらぬを  
賢人と申すなり

日蓮聖人ご遺文

「四条金吾殿御返事」

＝しなやかな心で＝

褒められれば有頂天になり、文句をいわれれば怒り、時にはへこんだり…。何かとストレスがたまる現代社会です。

私たちの身の回りには8つの風が吹いているといわれています。喜んだり、しょげたり、傷付けられたり、感謝されたり、尊敬されたり、陰口をたたかれたり、辛くなったり、楽しくなったり…。良い風の日も嫌な風が吹く日もあるのが人生です。

生きていけばいろいろなことがあります。それを乗り越えていくのは、何事にも動じない頑強な心ばかりではありません。どうしようもない悩みや苦しみは1人で抱えず、お寺や公的機関、周りの人に相談してみるのも方法です。

木の枝は頑強なほど折れやすいのです。どんな風とも仲良くできる枝垂れ桜のように、柳のように、しなやかにしなやかに生きていきましょう。

◎日蓮聖人ご遺文

『四条金吾殿御返事』

思い通りにいかないとき、人としてどんな心構えで暮らしていけばいいかを伝えています。人を怨まず穏やかな心を保つことが大切だと諭されながら、事態の好転を祈られています。

建治3年(1277) 聖寿56歳